

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅠ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る 学校生活の不安を解消し、やる気と自信を生む すらら学習（アプリ教材）に取り組み、基礎学力を定着させる、見直す 仲間づくりを通じて、コミュニケーション力を高めるワークを行う 就活に伴う企業研究の時間にする				
学習目標 （到達目標）	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。 就職対策として企業について知る、自己を分析し知る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	各種プリント・すらら学習				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション （学校を知る・スケジュールを知る・学校の規律を学ぶ）		手引き		
11～20	パソコンの設定・使い方指導、目標設定		パソコン演習		
21～30	学年交流、クラス交流、すらら説明、すらら学習		グループディスカッション		
31～40	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流		すららアプリ・各種プリント		
41～50	クラスホームルーム、コミュニケーションタイム				
51～60	クラスインフォメーション、ディスカッション、履歴書書き		グループディスカッション		
61～65	グループディスカッション、クラスホームルーム、会場見学		グループディスカッション		
66～70	1， 2 年生交流会				
71～80	夏休み前のインフォメーション、大掃除		プリント		
81～85	すらら学習 グループディスカッション		グループディスカッション		
86～90	すらら学習、クラスホームルーム、修了式		プリント		
91～95	すらら学習、卒業生座談会、クラスホームルーム		レポート		
96～100	すらら学習				
101～110	業界フェア見学、レポート書き、すらら学習		すららまとめテスト		
111～120	すらら学習、面談		すららアプリ・各種プリント		
120～130	すらら学習、面談、課外授業		すららアプリ・各種プリント		
131～140	すらら学習、面談、課外授業		すららアプリ・各種プリント		
141～150	修了式、大掃除				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。 プリント教材がたくさんあるためパスワードやIDの管理を徹底させる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ビジネス実務Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	プリントやテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際のお礼状、メール文書等を仕上げていく				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書を用いたメールができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー、各種プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	敬語表現、メール文書作成		メール機能の確認、使用方法を操作		
5～9	漢字、感じのいい受け答え・電話のかけ方		正確な文章、敬語をプリントを使って確認、電話実践		
10～13	電話の出方、お礼状、就職活動時の例文		アイモデル		
12～15	ロールプレイ		アイモデル		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。実際の会話を想定し、アイモデルでくりかえし練習する		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅰ				
担当教員	馬場秀憲、鈴木敬一郎、古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテルツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	1. 意欲的な心構え・自分自身の可能性を導き出す為の為に、体験→気づき→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	半年毎の目標を設定させ、目標の実現を目指す為の思考力を学ぶ				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート1 マジックドア1 夢と目標		個人作業・グループディスカッション		
2	パート1 マジックドア2 間違った思い込みと言ひ訳		個人作業・グループディスカッション		
3,4	パート1 マジックドア3 自分への信頼を取り戻すために①		個人作業・グループディスカッション		
5,6	パート1 マジックドア4 自分への信頼を取り戻すために②		個人作業・グループディスカッション		
7	パート1 マジックドア5 目標を設定しよう		個人作業・グループディスカッション		
8	パート2 マジックドア1 プラス思考が能力・可能性を広げる		個人作業・グループディスカッション		
9、10	パート2 マジックドア2 考え方を換えれば行動が変わる		個人作業・グループディスカッション		
11、12	パート2 マジックドア3 あなたの問題はあなたが解決する		個人作業・グループディスカッション		
13,14	パート2 マジックドア4 コミュニケーションスタイルを見直そう		個人作業・グループディスカッション		
15	パート2 マジックドア5 目標が才能・可能性を開花させる		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			明確な目標設定を行なわせ、常に向上心を持たせられるよう留意する。		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	コミュニケーション				
担当教員	馬場秀憲、鈴木敬一郎、古田千晶	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ウェディング科 葬祭ディレクター科 葬祭セレモニー科 ホテルツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1.社会においてコミュニケーションの大切さを知る 2.あらゆる場面で、よりスムーズなコミュニケーションをとるための技術を身につける				
学習目標 (到達目標)	コミュニケーション検定初級の取得を目指す				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット発行 コミュニケーション技法・コミュニケーション検定初級 公式ガイドブック＆問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	・検定詳細、動機付け、授業の進め方 ・行動をチェックする ・コミュニケーションの定義		講義（コミュニケーション技法テキスト使用）		
3・4	・コミュニケーションの基本を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
5・6	・話すときの心構えを理解しよう ・効果的な話し方を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
7・8	・きれいな発声・発音を身に着けよう ・正しい日本語を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
9・10	・効果的な表現力を身に着けよう		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
11・12	・聞くことの重要性		講義・チェック問題（公式ガイドブック使用）		
13・14	・各種コミュニケーション場面とポイント		問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）		
15・16	過去問題1・2		問題演習・解答解説（公式ガイドブック使用）		
17・18	過去問題3・4（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
19・20	過去問題解きなおし（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
21～23	過去問題5（マークシートを使って）		問題演習・解答解説		
24・25	検定本番、振り返り		問題演習・解答解説		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
過去問題テスト80%、授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			全員合格を目指すために、復習に力を入れる 分からない部分は友達同士で共有・解決できる環境を作る		
実務経験教員の経歴		葬祭ディレクターとして現場に8年間履わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリティコミュニケーション				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	1.ホスピタリエ資格取得をし、ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	日常生活の中にホスピタリエの視点を自然にとりいれられるようにする。 社会の課題をホスピタリティの視点で見つめ、自分の考えを持つ思考習慣を身に着ける。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	ホスピタリエが学ぶホスピタリティ		パワーポイント		
2	ごきげんなホスピタリエになるために必要な5つの資質		パワーポイント		
3	ホスピタリエのコミュニケーション習慣		パワーポイント		
4	ホスピタリエの共感力を磨こう！		パワーポイント		
5	ホスピタリエが家族に一番近い他人になるために		パワーポイント		
6	ホスピタリエのホスピタリエ紹介		パワーポイント		
7	ホスピタリエの学校生活とファーストステップ		パワーポイント		
8	起きてから寝るまでのファーストステップ		パワーポイント		
9	ホスピタリエの5つの資質の再チェック		パワーポイント		
10	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅰ				
担当教員	竹内正明	実務授業の有無	×	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	40
授業概要、目的、授業の進め方	ビジネス文書作成、プレゼンテーション等に必要なパソコンスキルを学び、word検定に合格する				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ　ワード文書処理能力検定３級　合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	サーティファイ　WORDクイックマスター基本編　ワード文書処理能力検定３級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	Wordの基本		実習		
3・4	文字の入力と編集の基本操作		実習		
5・6	文書の編集		実習		
7・8	文書の印刷		実習		
9・10	文書の作成		実習		
11・12	表を使った文書の作成				
13・14	図形や画像を使った文書の作成		実習		
15・16	検定対策　問題集　練習問題　１		実習		
17・18	検定対策　問題集　練習問題　２		実習		
19・20	検定対策　問題集　練習問題　３		実習		
21・22	検定対策　問題集　模擬問題　１		実習		
23・24	検定対策　問題集　模擬問題　２		実習		
25・26	検定対策　問題集　模擬問題　３				
27・28	検定対策　問題集　模擬問題　４				
29・30	検定対策　問題集　模擬問題　５				
31・32	検定対策　問題集　模擬問題　６				
33・34	検定対策　問題集　模擬問題　７				
35・36	サンプル問題				
37・38	過去問題　１				
39・40	検定試験				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70％　学習意欲10％　検定合格20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			問題集をクリアすることで、検定合格率がアップすることから、学生のモチベーションをキープさせ、必ず終了するように考慮する。		
実務経験教員の経歴	営業、企画、学校設立、教育指導経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	日常英会話Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています 毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標 (到達目標)	英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1		スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4				
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4				
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4				
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4				
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4				
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4				
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4				
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4				
11	テスト練習				
12・13	テスト				
14	振り返り				
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4				
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4				
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4				
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4				
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4				
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4				
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4				
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4				
23	テスト練習				
24	テスト				
25	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
授業態度40％ 試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外語学研修				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	80
授業概要、目的、 授業の進め方	①セブに2週間の短期留学を行い、1年間学んできた英語力を試すことと、異文化に触れ、世界を知ることが目的。②留学先のカリキュラム、スケジュールに合わせて進めていく。				
学習目標 (到達目標)	自分で立てた目標をクリアすること、留学先の成績評価でオールB以上を獲得する。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～8	個人のレベルに合わせて進める。4技能をバランスよく学習する。毎回単語テストあり。		スピーキング、リスニング、リーディング、ライティングのマンツーマン授業		
9～16					
16～24					
25～32					
33～40					
41～48					
49～56					
57～64					
65～72					
73～80		▼			
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			慣れない環境のため、まずは体調管理が必須。あまり意気込み過ぎずにリラックスして授業を受けることが大事。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	センスアップセミナー				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	業界に必要なセンスアップを実習をとおして習得する				
学習目標 (到達目標)	印象の良いヘアメイクを15分以内に出来るようになる。正しい姿勢で「歩く 立つ 座る」ができる。正しい発生・発音が出来る。話し方ができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ウイネット コミュニケーション技法 プリント対応				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	ヘアメイク:おしゃれと身だしなみの違い ヘアスタイル		ヘアメイク実習		
3 4	ヘア仕上がりチェック フルデモンストレーション 眉のみ練習		ヘアメイク実習		
5 6	メイク練習		ヘアメイク実習		
7 8	ヘアメイクを完璧に仕上げる		ヘアメイク実習		
9 10	歩き方：基本姿勢 表情 お辞儀の仕方		テキスト28・29Pを参考にしながら		
11 12	話し方：発生・活舌トレーニング		テキスト38～42p 50～52p		
13	発生・活舌トレーニング 敬語プリント		テキスト53～66p		
14 15	ビジネス会話 美しい日本語のフレーズ		テキスト67～68p		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 学習意欲20%			お客様に見られていることを常に意識できるように学習を重ねること。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		バンケットキャプテン・アテンダント・音響・司会業務に13年関わる			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅠ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	今まで学習した成果の発表をチーム分かれて制作し、保護者イベントにてアテンド、保護者に向けての発表をする				
学習目標 (到達目標)	保護者へのアテンド、進級制作の成功 自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	進級制作発表会の概要と心構え				
3、4	テーマ・タイトル決め				
5、6	役割分担・チームメンバー役割決め、スケジュール作成				
6～15	個々制作、チーム制作				
16～25	個人練習①改善				
25～30	チームごとの練習①改善				
31～35	個人練習② 改善				
36～38	チームごとの練習② 改善				
39～42	セッティング 通しリハーサル				
43～54	全体リハーサル				
55～70	全体リハーサル				
71～90	全体リハーサル				
91～100	本番・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	インターンシップ研修Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1年生	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 会社で働くということを学ぶ 2. 仕事のやりがいなどを聞き、目指す姿を見つける 3. ホテル業界の働き方を知る				
学習目標 (到達目標)	インターンシップ企業からの評価をもらう				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	インターンシップレポート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	顔合わせ・意識づけ		身嗜みや言葉遣いに注意。学生ではなく社会人としての意識を持つ。		
3～6	企業調べ・目標設定		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
7～140	OJTによる業務体験		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
141～150	振り返り		パソコンで作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
勤務態度100％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			基本的には、インターンシップ企業のシフトやルールで働くことになるので臨機応変が必要。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名		ホテル概論Ⅰ				
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、授業の進め方		ホテルや宿泊産業の概要、観光産業の中の位置付けを理解する。ホテルの種類や形態、その組織及び代表的な職種とその業務内容を体系的に学び、業務の基礎知識も身につけて行く。そして、ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、この後に続く就職活動・進路選択に役立てて行く。				
学習目標 (到達目標)		1.ホテル業界の概要、ホテルの種類、及び各部門の代表的な職種・業務内容の把握と基礎知識の習得。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		プリント教材（適宜、レジュメ資料を配布）				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス / 講師自己紹介（業界経歴） ホテルの概要			レジュメ資料を配布し、重点ポイントを説明		
3、4	ホテルの概要 / ホテルで働く魅力					
5、6	ホテルの成り立ち・歴史 / ホテルの形態・種類					
7、8	観光産業の中のホテルの位置付け/ 業界の現況					
9、10	ホテルの仕事1 宿泊部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
11、12	ホテルの仕事1 宿泊部門（組織・職種・業務内容・基礎知識）					
13、14	ホテルの仕事2 料飲部門・宴会部門 （組織・職種・業務内容・基礎知識）					
15、16	ホテルの仕事2 料飲部門・宴会部門 （組織・職種・業務内容・基礎知識）					
17、18	ホテルで働く資質・心構え				↓	
19、20	キャリアプラン/ まとめ			期末レポート作成		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席(ミニ課題含む) 40点 授業態度 10点 中間試験 20点, 期末試験 30点 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				ホテルスタッフに求められる資質や心構えも理解し、その後、に続くインターンや就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	宿泊実務Ⅰ				
担当教員	鈴木敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	テキスト、パワーポイントを使用し仕事内容を理解し知識を身に着ける。 実習を交え実践的な動きや技の習得を目指す。				
学習目標 (到達目標)	宿泊部門の仕事内容を理解し、ベル・コンシェルジュの実務をできるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト（フロント・サービス編）、ホテルテキスト（フロント・オフィス編）				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	ガイドンス		テキスト、パワーポイント		
3・4	宿泊部門の業務		テキスト、パワーポイント		
5・6	ベル業務 実習（エレベーターの乗降）		テキスト、パワーポイント、実習		
7・8	ベル業務 実習（お出迎え、フロントへの案内）		テキスト、パワーポイント、実習		
9・10	ベル業務 実習（客室案内）		テキスト、パワーポイント、実習		
11・12	ベル・クローク業務 実習（荷物の預かり）		テキスト、パワーポイント、実習		
13・14	コンシェルジュ業務		テキスト、パワーポイント		
15:16	コンシェルジュ業務、ビデオを見てのレポート		テキスト、ビデオ、レポート		
17・18	コンシェルジュサービス（ケーススタディ）		テキスト、パワーポイント、プリント		
19・20	コンシェルジュサービス（ケーススタディ）		テキスト、パワーポイント、プリント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20％ 授業態度10％ 試験60％、レポート10％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・ C(60点以上)・D(59点以下)とする。			宿泊実務はホテルの宿泊部門の基礎を学ぶ為、 座学と実習を交え理解し、就職活動に役立てる。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名	料飲サービス（実務）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	30（前20、後10）
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルの料飲部門に必要な知識を座学形式で身につける。 実際の機材などを確認しながら、目から入る情報も大切にする。				
学習目標 （到達目標）	基本的な料飲部門の知識を身につける（什器・食器・備品類、西洋料理、朝食、日本料理、中国料理の基礎知識、宴会部門の基礎知識）				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	Ⅰ 第1章 料飲部門の概要		ホテルの料飲部門を知る		
2.3	Ⅰ 第1章 料飲部門の概要		ホテルレストランの種類、宴会の種類を知る		
4.5	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ		
6.7	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		銀食器の種類を学ぶ、陶磁器の種類を学ぶ		
8.9	Ⅰ 第2章 什器・食器・備品類の知識		ガラス食器の種類を学ぶ、リネン類、ワゴン類を学ぶ		
10.11	Ⅰ 第4章 西洋料理の基礎知識		フランス料理のフルコースの概要を学ぶ		
12～15	Ⅰ 第4章 西洋料理の基礎知識		1つ1つ細かく説明を入れ、知識を深めていく		
16.17	Ⅰ 第5章 朝食の基礎知識		朝食の料理内容やアメリカンブレイクファーストやコンチネンタルブレイクファースト等を学ぶ		
18	Ⅰ 第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		日本料理の種類や作法を学ぶ		
19	Ⅰ 第6章 日本料理・中国料理の基礎知識		中国料理の種類や作法を学ぶ		
20	確認テスト				
21	Ⅲ 第1章 宴会部門概要		宴会の概要を学ぶ		
22.23	Ⅲ 第2章 宴会予約		宴会の予約管理を学ぶ		
24.25	Ⅲ 第3章 宴会サービス		宴会のサービス方法を学ぶ		
26.27	Ⅲ 第4章 婚礼サービスと慶弔の知識		婚礼のサービス方法や慶弔の意味を学ぶ		
28.29	2年次の国家検定取得の意義と動機付け		国家検定について説明し、取得の意義や重要性を伝える		
30	確認テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			基本的な知識を身につけることは大切です。基本的な備品の名前や西洋料理、朝食、日本料理、中国料理を学ぶことで料飲の世界の奥深さや魅力も知ってほしいと考えています。また、知識を身につけることでお客様へのご案内に自信がつき、接客時にお客様へお伝えすることができます。また、自身の2年次のコース選択や国家検定取得に向けた意欲につなげてほしいとも考えています。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	料飲サービスⅠ（演習）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	55（前30、後25）
授業概要、目的、 授業の進め方	前期は、ホテルでの料飲サービスに必要な基本的知識を実践形式で身につける。 実際に動きながら、自身の体に技術を覚えさせるような意気込みで進めていく。 後期は、前期で学んだ技術が身についているか確認し、成長を実感する。 また、さらに高度な技術を身につけるとともに、2年次のコース選択の考察にも活かす。				
学習目標 （到達目標）	一連のレストランサービスができるようになる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	接客のお辞儀と挨拶、サービスの実践		お辞儀と接客7大用語がきれいにできる。プレート2枚持ち を実践し、お皿の重さを感じてみる。		
3、4	プレートサービスと下げの方法の理解と実践				
5、6	トレイ、グラス、ウオーターピッチャーの扱い方や運び方の 理解と実践				
7、8	サーバーの扱い方の理解と実践				
9、10	ワインボトルの扱い方、サービスの実践				
11、12	前回の復習、一連の流れ（パン、プレートサービス、下げ）				
13、14	バンケット研修準備				
15～20	ホテルでのバンケット研修				
21、22	バンケット研修振り返り				
23、24	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、 お見送り）		一連の流れを止めながら、確認していく		
25、26	一連の流れ（お迎え、着席補助、オーダー、離席補助、 お見送り）		一連の流れを止めながら、確認していく		
27、28	実技テスト①				
29、30	実技テスト②				
31、32	前期技術の振り返り				
33、34	テーブルサービスの形態を実践で学ぶ		ロシア式、フランス式、イギリス式、アメリカ式		
35、36	スープチュリーンを実践で学ぶ				
37、38	ワイン抜栓を実践で学ぶ				
39、40	テーブルクロスの敷き方、畳み方等実践で学ぶ				
41、42	フルコースのテーブルセッティングを実践で学ぶ		前菜、スープ、魚、肉、水、シャンパン、白ワイン、赤ワ イン		
43～48	ホテルでのバンケット研修				
49、50	バンケット研修振り返り				
51、52	日本料理のサービスを実践で学ぶ				
53、54	中国料理のサービスを実践で学ぶ				
55	全体振り返り、2年生への意識づけ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)と する。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			ホテルでの料飲サービスの基本的技術が身につくように、日々の 授業で習う技術を大切にしてください。また、技術を磨くことは 自身のためでもあります。いちばんはお客様に楽しいお食事の 時間を提供できるためだということを理解しながら、技術を身に 着けてください。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	プロトコール検定対策				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	NPO法人日本マナー・プロトコール協会が実施する日本人として社会人として必須のマナーやプロトコール（国際儀礼）に関わる知識と技能を認定する資格です。国際ビジネス、サービス産業、教育業界をはじめ、就職、ビジネスの第一線で活かすことができます。				
学習目標 （到達目標）	マナー・プロトコール検定3級合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	マナー＆プロトコールの基礎知識				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション、マナーやプロトコールを学ぶ意義		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
2	第1章 マナーの歴史と意味		日本、西洋、アジアのマナーの成り立ち		
3	第2章 国際人としてのプロトコール		プロトコールの原則、パーティ、国旗		
4.5	第3章 社会人に必要なマナー		言葉遣い、話し方、服装 贈答（祝儀、不祝儀、袱紗）、手紙のマナー		
6.7	第4章 ビジネスシーンのマナー		会社の仕組み、電話応対 来客応対（茶菓応対）、ビジネス文書、電子メール		
8	第5章 和食のマナー		和室のマナー		
9.1	第6章 西洋料理のマナー		西洋料理とアジアの食事のマナー		
11	第7章 冠のしきたり		主な通過儀礼		
12	第8章 婚のしきたり		婚約、結婚式のマナー		
13	第9章 葬のしきたり		葬儀、法要の日本知識		
14	第10章 祭りのしきたり		年中行事		
15	模擬問題				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）20%、検定合格30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			マナーは人と人をつなぐ潤滑油。お付き合いに必須の冠婚葬祭のしきたりや食事の作法、通過儀礼などが確認できます。 社会人として必要なビジネスマナーや異文化交流の基本となるプロトコールは、業種や職種が変わっても必要なものです。生涯にわたって役立つものです。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名	ホテル業界・顧客研究				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	115
授業概要、目的、授業の進め方	将来、ホテルで働く者として、ホテル業界について自身で調査をし、理解を深めていく。調査したことを発表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度高めていく。また、顧客としてホテルにいらっしゃるお客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。				
学習目標 (到達目標)	業界や顧客を理解し、様々なニーズに対応できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	目的説明、調査テーマ検討①				
6～10	調査 ホテル業界・顧客①		パソコンで調査		
11～15	体験①		体験		
16～20	共有①		シートにまとめる		
21～25	まとめ①				
26～30	目的説明、調査テーマ検討②				
31～35	調査 ホテル業界・顧客②		パソコンで調査		
36～40	体験②、共有②、まとめ		体験、シートにまとめる		
41～45	目的説明、調査テーマ検討③				
46～50	調査 ホテル業界・顧客③		パソコンで調査		
51～55	体験、共有、まとめ③		体験、シートにまとめる		
56～60	目的説明、調査テーマ検討④				
61～65	調査 ホテル業界・顧客④		パソコンで調査		
66～70	体験、共有、まとめ④		体験、シートにまとめる		
71～75	目的説明、調査テーマ検討⑤				
76～80	調査 ホテル業界・顧客⑤		パソコンで調査		
81～85	体験、共有、まとめ⑤		体験、シートにまとめる		
86～90	目的説明、調査テーマ検討⑥				
91～95	調査 ホテル業界・顧客⑥		パソコンで調査		
96～100	体験、共有、まとめ⑥		体験、シートにまとめる		
100～115	1年のまとめ、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			自信で興味をもって調査をしましょう。それを体験することで、理解を深め、接客に活かせる経験になるよう努めましょう。		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	サスティナブルトラベル				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方	サスティナブルトラベルという言葉が浸透してきた現在、働くうえで知っておいた方が良い、SDGsとホテル、観光のつながりをグループワークを通して学びます。				
学習目標 (到達目標)	SDGs、地域共生社会という一般教養を身に着ける。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス		プリント		
3、4	SDGsとは何か、		プリント		
5、6	SDGsにて興味のある項目調査				
7、8	調査内容共有				
9、10	SDGsに取り組んでいる新潟の企業		講演		
11、12	フィールドワーク事前調べ（食品マークや町にあるサインについで）				
13、14	フィールドワーク（食品マークや町にあるサインについて）				
15、16	フィールドワーク振り返り				
17、18	ホテル業界のSDG s				
19、20	まとめ		プリント		
実務経験教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	鑑賞対話で学ぶ多様性Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	鑑賞対話を通じて観察力や思考力を養い、多様な価値観を受け入れる姿勢と心理的安全性の重要性を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	他人の意見を否定せず受け入れ、自分の意見も伝える勇気を持てる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント、作品				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	鑑賞対話とは何か 作品①		作品を提示して理解を深める		
3・4	鑑賞対話 作品②③		学生たちから希望をとり、適した作品を選ぶ		
5・6	鑑賞対話作品④⑤				
7・8	鑑賞対話作品④⑤				
9・10	鑑賞対話作品⑥ 発表				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席60%、レポート提出20%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			否定的や悲観的な言動に気をつける。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル英語Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	1	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 英語の習熟度別に分かれ、各自が会話の上達を目指し取り組む。 2. 表現に必要な文法をすべて網羅するよりも、重点的に理解が必要な会話やテクニックを集中的に学ぶ。 3. テキストを中心に学び、単語テストも適宜行う。				
学習目標 (到達目標)	ホテル英会話の向上				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	的確に伝わる！ホテルの英会話				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	P14～32 ホテル英語の基本の話		レベルチェックテスト		
3・4	Part3 館内施設＆レストラン英会話		テキスト、CD、ロールプレイ、単語テスト		
5・6	P138～148 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
7・8	P149～159 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
9・10	P160～170 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
11・12	P171～181 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
13・14	P182～192 基本文と接客の流れをイメージしたロールプレイをしながら会話をする。				
15	期末テスト・振り返り		期末テスト		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語に対して苦手意識をもっているなので、予習時間を十分に 取り、CDを活用したリスニングの宿題をさせる。高校 1年生レベルから教え始めるほうが効果的です。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅡ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2年	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方	wishの学生として学校生活を送るためのルールを知る 学校生活の不安を解消し、やる気と自信を生む アプリでの入力やすらら（アプリ教材）に取り組み、基礎学力を定着させる、見直す コミュニケーション力を高めるワークを行う 就活に伴う企業研究の時間にする 未内定者のフォローアップ				
学習目標 （到達目標）	学校生活でのルールを知り、社会人となる人材育成を行う。 就職対策として企業について知る、自己を分析し知る。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	各種プリント・すらら学習				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	オリエンテーション ・クラス内活動		手引き		
11～20	パソコンの設定・アプリ等の使い方指導、目標設定		パソコン演習		
21～30	学年交流、クラス交流、すらら説明、すらら学習		グループディスカッション		
31～40	ゴールデンウィークの課題確認・時間割、テキスト説明・クラス交流		すららアプリ・各種プリント		
41～50	クラスホームルーム、コミュニケーションタイム				
51～60	クラスインフォメーション 学年行事について		グループディスカッション		
61～65	グループディスカッション、クラスホームルーム、会場見学		グループディスカッション		
66～70	1, 2年生交流会				
71～80	夏休み前のインフォメーション、面談、大掃除		プリント		
81～85	すらら学習 グループディスカッション		グループディスカッション		
86～90	すらら学習、クラスホームルーム、修了式		プリント		
91～95	すらら学習、卒業生座談会、クラスホームルーム		レポート		
96～100	すらら学習				
101～110	未内定者面談、レポート書き、すらら学習		すららまとめテスト		
111～120	すらら学習、面談		すららアプリ・各種プリント		
120～130	すらら学習、面談、課外授業		すららアプリ・各種プリント		
131～140	すらら学習、面談、課外授業		すららアプリ・各種プリント		
141～150	卒業式前インフォメーション、修了式、大掃除				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出席率 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			学年全体、クラス全体へのインフォメーションの場合なので、公平に伝達漏れがないように気を付けて話をする。 プリント教材がたくさんあるためパスワードやIDの管理を徹底させる。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	ビジネス実務Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	一度学習したテキストを中心に文書の書き方を繰り返し学習する。PCを使って、実際の社内文書、社外文書、メール文書等を仕上げていく。新たに、即戦力として役に立つ日常ビジネスマナーを身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書に加えて、電話応対、来客応対をロールプレイをしながら一人で判断して対応できるレベルにする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
12	ガイド 第1章 表記技能／実践ビジネスマナー 電話応対		漢字、書式のテキスト内の問題を解く／ロールプレイ		
34	ガイド 第1章 表記技能／実践ビジネスマナー 電話応対		漢字、書式のテキスト内の問題を解く／ロールプレイ		
56	ガイド 第2章 表現技能／実践ビジネスマナー 電話応対		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
78	ガイド 第2章 表現技能／実践ビジネスマナー 来客応対・敬語		正確な文章、ねじれない文書内の問題を解く		
9・10	ガイド 第3章 実務技能／実践ビジネスマナー 名刺の受け渡し		社外文書の例を探す／ロールプレイ		
11・12	ガイド 第3章 実務技能／実践ビジネスマナー テスト練習		社外文書の例を探す／ロールプレイ		
13・14	期末テスト				
15	振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	実践行動学Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2年生	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 実践行動学Ⅰで学習した内容を踏まえ、1年間の振り返りを行う 2. 働くことへの意識を気づき→認識→一般化→応用という手法をとりいれ、個人作業・ディスカッションなどを通じて理解を深める				
学習目標 (到達目標)	社会人へでの準備→2年後の目標→ライフプランへと段階を経て、将来の自分を具現化させる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	実践行動学研究所 実践行動学				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	パート3 マジックドア1 入学から今日までの成長を実感する		個人作業・グループディスカッション		
2	パート3 マジックドア2 働く自分をイメージしてみよう		個人作業・グループディスカッション		
3	パート3 マジックドア3 自分が最大限に生きる働き方とは		個人作業・グループディスカッション		
4	パート3 マジックドア4 将来を描いてみよう		個人作業・グループディスカッション		
5	パート3 マジックドア5 夢実現への第一歩を踏み出そう		個人作業・グループディスカッション		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			就職直後、数年後、未来・・・の目標を描かせることで、ポジティブな気持ちを継続させる。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホスピタリティコミュニケーション				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	1ホスピタリティを広めることができる人材になる				
学習目標 (到達目標)	ナレッジツリーのしくみを理解し、日常生活の中で知識教養が自然に身についていく生活習慣をつくる ホスピタリティ産業の中で、ホスピタリティがどのように活用され、あるいは活用されていないかを知り、実際のビジネスの現場について学びながら、自然にセカンドステップが発想できるようにトレーニングする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	筆記用具				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	自分のイヤ 自分以外の人のイヤ		パワーポイント		
3	料飲ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
4	ホテルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
5	ウエディングビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
6	フューネラルビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
7	医療ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
8	航空ビジネスとホスピタリティ		パワーポイント		
9	ホスピタリエが考えるホスピタリティ産業		パワーポイント		
10	ホスピタリエの共感レポート		パワーポイント		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80%、授業姿勢20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			積極的な意見交換をする。 ホスピタリティを定着させる。		
実務経験教員の経歴		ドレススタイリストとして現場に10年間携わった。			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ソフトウェア活用実習Ⅱ				
担当教員	竹内正明		実務授業の有無	×	
対象学科	全科	対象学年	2 年	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方	データ入力、表計算、グラフ作成、データベース捜査のスキルを学び、E X C E L 検定初級を受検する。				
学習目標 (到達目標)	サーティファイ エクセル文書処理能力検定3級 合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	サーティファイ E X C E L 2021クイックマスター基本編 エクセル文書処理能力検定3級問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	エクセルの基本 データの編集 表の編集		実習		
4～6	ブックの印刷 グラフと図形の作成 ブックの利用と管理		実習		
7～9	関数 データベース機能		実習		
10～12	練習問題 1		実習		
13～15	練習問題 2 3		実習		
16～18	模擬問題 1 2		実習		
19～21	模擬問題 3 4		実習		
22～24	模擬問題 5 6		実習		
25・26	模擬問題 7 苦手箇所の練習		実習		
27～33	サンプル問題 事前対策		実習		
34・35	エクセル検定3級受検		実習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率70％ 学習意欲10％ 検定合格20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			復習をメインに模擬問題を確実なものにすることで、検定合格に結びつく為、モチベーションをキープするよう考慮する。		
実務経験教員の経歴		営業、企画、学校設立、教育指導経験あり			

科目名	日常英会話Ⅱ					
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科		全科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		必須	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方		スタディサプリEnglishを利用し、自主学習でついた英語力を全体授業で確認していきます。 お客様とのコミュニケーションに英語は欠かせないため、英語力を強化します。 英語の問題を解くだけでなく、発話する力をつけるため一人ひとりの発話チェックの時間をもうけています。毎回、単語テストを行い習得状況を把握します。				
学習目標 (到達目標)		英語での会話に緊張せず対応できる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		スタディサプリEnglish				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション Unit1			スタディサプリEnglish・ロールプレイ・単語テスト		
3	Unit1 Lesson5 トレーニング1・2・4					
4	Unit2 Lesson10 トレーニング1・2・4					
5	Unit3 Lesson15 トレーニング1・2・4					
6	Unit4 Lesson20 トレーニング1・2・4					
7	Unit5 Lesson25 トレーニング1・2・4					
8	Unit6 Lesson30 トレーニング1・2・4					
9	Unit7 Lesson35 トレーニング1・2・4					
10	Unit8 Lesson40 トレーニング1・2・4					
11	テスト練習					
12・13	テスト					
14	振り返り					
15	Unit9 Lesson45 トレーニング1・2・4					
16	Unit10 Lesson50 トレーニング1・2・4					
17	Unit11 Lesson55 トレーニング1・2・4					
18	Unit12 Lesson60 トレーニング1・2・4					
19	Unit13 Lesson65 トレーニング1・2・4					
20	Unit14 Lesson70 トレーニング1・2・4					
21	Unit15 Lesson75 トレーニング1・2・4					
22	Unit16 Lesson80 トレーニング1・2・4					
23	テスト練習					
24	テスト					
25	振り返り					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
授業態度40％ 試験60％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				アプリを中心に学び、単語テストも適宜行う。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	イベントプロデュースⅡ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2年	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	学生たちの理想とするホテル運営を説得力をもってプレゼンできるように調査、実証をしていくフィールドワークやディスカッションが中心。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)	卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて		プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成		プリント		
7～10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う		グループワーク		
11～14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する				
15～18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する				
19～22	当日の発表に必要な台本＋パワポを作成する				
23～26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ				
27～30	台本＋パワポの修正。完成。				
31～36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、 卒制全体のイメージをつかむ				
37～42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）				
43～48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）				
49～65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ				
66～71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）				
72～77	全体リハーサル⇒振り返り、修正				
78～83	前日リハーサル⇒振り返り、修正				
84～93	企業、保護者本番				
94～100	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
卒制実施30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（学科）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	レストランサービス技能検定3級学科試験合格を目指し、座学を中心にしながらテキストを進めていく （受験資格に受講することが必須）				
学習目標 （到達目標）	レストランサービス技能検定3級学科試験合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 プリント、確認テスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～3	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品				
4.5	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第1節 食品				
5～8	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材				
9.10.	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第2節 西洋料理に使用される主な食材				
11～13	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第3節 一般的な西洋料理調理法、第4節 飲料の種類および特徴				
14.15	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第4節 飲料の種類および特徴、第5節 メニュー				
16～18	第1章 食材・飲料等の基礎知識 第6節 西洋料理の食器用具・備品				
19.20.	確認テスト				
21～23	第2章 接客の基本 第1節～第4節				
24.25	確認テスト				
26～28	第3章 宴会とレストランサービス 第1節 宴会、第2節 レストラン				
29.30.	第3章 宴会とレストラン 第3節 客席案内～第8節 メニュー管理				
31～33	第3章 宴会とレストランサービス 第9節 料理、食器等の異常～第12節 食事の国際習慣				
34.35	確認テスト				
36～38	第4章 食文化				
39.40	第5章 施設管理				
41～43	第6章 苦情対応と遺失物の取り扱い				
44.45	確認テスト				
46～48	第7章 食品衛生および公衆衛生 第1節 食品衛生				
49.50.	第7章 食品衛生および公衆衛生 第2節 公衆衛生～第3節 食品衛生法				
51～54	確認テスト、第8章 安全衛生 第1節 労働災害				
55.56	第8章 安全衛生 第2節 危険有害性				
57～59	第8章 安全衛生 第3節 労働安全衛生に関する法令				
60.61	全体振り返り解説				
62.63	確認テスト				
64～69	特別講習 問題演習				
70～75	特別講習 問題演習				
76～81	特別講習 問題演習				
82～86	特別講習 問題演習				
87.88	検定本番				
89.90.	丸付け、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50％、出席率30％、学習意欲（授業態度）20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			食に関わる知識全般を学びます。わからない、難しい用語などは自身で調べ、頭の中に映像が浮かぶように準備をしてください。そうすることで食に関わる様々な事柄に興味が沸き、検定のためだけでなく自身の仕事に直結した知識を覚えたいと感じるはずです。それが、お客様への食の安全にもつながります。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	レストランサービス技能検定3級対策（実技）				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	60（前25、後35）
授業概要、目的、授業の進め方	レストランサービス技能検定3級実技試験合格を目指し、実技を中心にしながら進めていく（受験資格に受講することが必須）				
学習目標（到達目標）	レストランサービス技能検定3級実技試験合格				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	西洋料理 料飲接客サービス技法 日本ホテル・レストランサービス技能協会からの3級実技課題プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	動機付け、前年の実技試験課題デモンストレーションと説明				
3、4	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
5、6	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
7、8	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
9、10	演習 パンサービスからお見送りまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
11、12	演習 パンサービスからお見送りまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
13、14	演習 パンサービスからお見送りまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
15、16	演習 お見送りからからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
17、18	演習 お見送りからからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
19、20	演習 お見送りからからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
21、22	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
23～25	実技確認テスト①				
26～28	実技試験課題デモンストレーションと説明				
29、30	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
31、32	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
33、34	演習 案内からパンサービスまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
35、36	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、止めながら動きの確認		
37、38	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を確認し、通して確認		
39、40	演習 パンサービスからリセットまで		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
41、42	演習 全体（みだしなみチェック①）		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
43、44	演習 全体		セリフ、動き台本を見ずに通して確認		
45、46	演習 全体		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
47、48	演習 全体（みだしなみチェック②）		制限時間に近づけるようタイムも気にする		
49、50	演習 全体		タイムを縮める		
51、52	演習 全体		タイムを縮める		
53、54	演習 全体（みだしなみチェック③）		タイムを安定させる		
55、56	演習 全体		タイムを安定させる		
57、58	苦手パート克服				
59、60	反復練習、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			実技試験当日に緊張して制限時間をオーバーすることのないように何度も反復練習を行います。学校内の練習を日々、緊張感を保ち行うことが重要です。また、試験当日の想像をして、備品の違いや会場の違いに戸惑わないようにしていきます。		
実務経験教員の経歴	客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名		ホテルマネジメント				
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	35
授業概要、目的、 授業の進め方		講義と演習を通して、ホテル業界の現況・時事を把握するとともに、近い将来、マネジメントとしての活躍に必要な、人、もの、カネ、情報といったホテル産業における経営資源の管理手法の基礎を幅広く学ぶ。ビジネスとしてのホテルを理解し、自身のキャリア形成に必要な考える力を身につけていく。				
学習目標 (到達目標)		ホテルのマネジメント業務を理解し、実践的な実務を可能にする。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		プリント教材				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	授業ガイダンス / ホテル関連業界動向			レジュメ		
3、4	ホテル産業の特性					
5、6	部門別マネジメント・宿泊部門 レベニューマネジメント 計数管理					
7、8	部門別マネジメント・宿泊部門 レベニューマネジメント 計数管理					
9、10	部門別マネジメント・宿泊部門 宿泊予約実務					
11、12	部門別マネジメント・宿泊部門 宿泊予約実務					
13、14	部門別マネジメント・宿泊部門 フロント実務					
15、16	部門別マネジメント・宿泊部門 客室管理実務					
17、18	部門別マネジメント・宿泊部門 客室管理実務					
19、20	グループワーク				↓	
21、22	グループ・プレゼンテーション<期末試験>			評価・資料提出		
23、24	ホテル業界概況/後期内容、業界動向・時事・事例紹介			レジュメ		
25、26	部門別マネジメント・料飲部門 オペレーション/コンセプト					
27、28	部門別マネジメント・料飲部門 予算管理（売上）（F&Bコントロール）					
29、30	部門別マネジメント・料飲部門 予算管理（人件費コントロール）（P/Lの理解）					
31、32	部門別マネジメント・料飲部門 セールスプロモーション（プレゼン準備）					
33～35	グループ・プレゼンテーション<期末試験>				↓	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率40％ 授業態度20％ 試験40％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				ホテルのマネジメントの業務を理解し、求められる資質や心構えも含めて理解し、その後に続く就職活動・進路選択に役立てていく。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	セールス & マーケティング				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	ホテルの利益がどのように生まれるのか、利益を得るために、どのようにSNSを使用していけばよいのかなど、集客方法を学び理解し、10月の卒業制作へと繋げ、企画に活かす。				
学習目標 (到達目標)	セールスとマーケティング業務の理解、SNSとの付き合い方を理解する。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	パワーポイント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ホテルの収益構造についての考察		パワーポイント		
3.4	営業部門、料飲部門についての考察				
5.6	SNS 広報・宣伝活動についての考察				
7.8	宿泊部門についての考察				
9.10	地域連携についての考察			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			SNSは一步間違えれば、事件・事故につながるため、大前提としてSNSの危険性を理解し授業に取り組む。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名	観光概論Ⅱ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルは観光の一部であるということ理解し、ホテルスタッフとして観光の重要性を学ぶ				
学習目標 (到達目標)	観光学の基礎と多面性を理論と具体例から理解する。 観光の現場や学術において使われるキーワードを学ぶ。 典型的な観光現象について知識を深める。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	2025年版観光ビジネス未来白書				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～2	観光ビジネスの概要と世界動向 世界各国の観光振興戦略、国際観光収支の実態、観光の経済効果		2025年版観光ビジネス未来白書		
3～4	飲食・土産・地域ブランドの観光価値				
5～6	ニューツーリズムと観光の未来				
7～8	観光DXと未来の観光ビジネス				
9～10	総まとめとディスカッション				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			日本の主要産業である、観光の大切さを学び、 観光とホテルの繋がりを理解する。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名	イベントプロデュースⅡ（ホテル運営企画）				
担当教員	渡邊恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	145
授業概要、目的、 授業の進め方	11月19日に学校が提携している実習施設（ホテルイタリア軒様）の客室（30室）を買取、学生のアイディアで販売、運営するための準備授業となる。 ツーリズムの取り組みで成長している金沢市のホテル企業に協力していただき、研修を実施。 その後、地元のシャッター街化している地元新潟市のツーリズムについて考え、交流人口を増やせる魅力ある企画をホテルスタッフ目線で提案、集客、実行する。				
学習目標 （到達目標）	就職後に自分の地域で学習したことを役立てられる。Win-Winの関係を築くために行動がおこせる。地域の魅力発信や集客に役立つ企画を考え、提案、実行する。多くの企業や大人と関わることで、伝え方や考え方、社会の仕組みを相対的に学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インバウンドの回復、コロナ後の日本景気的好調もあり、ホテルを中心としたツーリズムをフィールドワーク、集客を通じてのイベント運営を行う。チームに分かれての行動や研修、講話が多くなる。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	オリエンテーション		動画、PPT		
5～10	地域活性化に取り組む企業様調査				
11～13	地域活性化に取り組む企業様からの講演①		月岡温泉 株式会社泉慶 飯田様		
14.15	講演の振り返り・SNSの発信		SNSの発信を始める↓		
16～18	地域活性化に取り組む企業様からの講演②		星野リゾート OMO5金沢片町 海野様		
19.20.	フィールドワーク説明（石川県金沢市のホテルの取り組み）				
21～26	金沢市内ホテル研究				
27～36	金沢市内でのフィールドワーク（各社の協力を得てツーリズムについて講義、研修を受ける）		イベントへの参加や企業訪問など		
37～46	フィールドワーク共有と地元の調査				
47～100	企画・立案を進める				
101～120	プレゼン・修正				
121～140	リハーサル、修正				
141～145	客室の販売準備完成		↓		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
発表試験80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D(59点以下)とする。			探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れない。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名		ホテル業界・顧客研究Ⅱ				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	35（前20、後15）
授業概要、目的、授業の進め方		将来、ホテルで働く者として、ホテル業界について自身で調査をし、理解を深めていく。調査したことを発表し、共有することで興味を広げたり、全体の理解度高めていく。また、顧客としてホテルにいらっしゃるお客様がどのような方々なのかを体験から学ぶ。				
学習目標 (到達目標)		業界や顧客を理解し、様々なニーズに対応できるようになる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		配布資料				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	目的説明、調査テーマ検討					
3.4	調査①-1 現地見学①			パソコンで調査		
5.6	体験①-2			体験		
7.8	共有①-3			シートにまとめる		
9.10	調査②-1 現地見学②					
11.12	体験②-2					
13.14	共有②-3					
15.16	調査③-1 現地見学③					
17.18	体験③-2					
19.20.	共有③-3			前期振り返り、まとめ		
21.22	目的説明、調査テーマ検討					
23.24	調査④-1 現地見学④					
25.26	体験④-2					
27.28	共有④-3					
29.30.	調査⑤-1 現地見学⑤					
31.32	体験⑤-2					
33.34	共有⑤-3					
35	後期振り返り、まとめ					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。				自信で興味をもって調査をしましょう。それを体験することで、理解を深め、接客に活かせる経験になるよう努めましょう。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

科目名	国際文化理解				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	インバウンド対応のの中心の現場で働くホテルスタッフがその政策の成り立ちや各国の行事や国民性、宗教などについて学ぶことは大変重要だと考える。それを座学を中心に学んでいく。				
学習目標 (到達目標)	日本と海外諸国との関係性。日本政府の海外政策などを学ぶ。また、海外の宗教や国民性、行事などの理解を深める。宗教的な食事の禁忌なども学ぶ。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	宗教の基本的な知識		レジュメ		
3、4	宗教上の基本的な禁忌		↓		
5、6	国際儀礼プロトコール				
7、8	インバウンドの誘致				
9、10	インバウンドの接遇				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			海外に関して関心を持ち、各国からいらっしゃるお客様のことを理解すること。そして、喜んでいただくためにはどのようなことに注意が必要かを学び、接客に活かしてほしいとかがえています。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名	サスティナブルトラベルⅡ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	サスティナブルトラベルという言葉が浸透してきた現在、働くうえで知っておいた方が良い、SDGsとホテル、観光のつながりをグループワークを通して学びます。内定先や就職希望先の企業がどのような取り組みをしているのか事前に知ることでの入社意識も高めます。				
学習目標 (到達目標)	SDGs、地域共生社会という一般教養を身に着ける。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	プリント教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	SDGsとは何か、		プリント		
3、4	SDGsにて興味のある項目調査				
5、6	調査内容共有				
7、8	内定先企業のSDG s への取り組みを調べる				
9、10	後輩、同学年にむけて発表をする 振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験50%、レポート20%					
成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			SDGs、地域共生の重要性を理解し履修する		
教員の経歴	ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	ビジネス英語				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテル勤務の際に求められる会話や丁寧な接客に必要なメールの習得				
学習目標 (到達目標)	ホテル英語力の向上				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	プリント				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	ホテル勤務を想定したビジネス会話をしよう フロント対応・電話対応		レベルチェックテスト・プリント		
3・4	メール対応				
5	ロールプレイ総復習				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
ロールプレイ試験60%、学習意欲40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			短期間のため、本当によく使う会話中心に繰り返しロールプレイをする		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	Global Activity II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、 授業の進め方	今まで学んできた世界の課題や地域の課題を「自分ごと」としてとらえ、どんな対策や効果のある提案ができるか、自分たちなりに考え発表する。地元や各国の文化を受け入れ、接客に活かせるよう心がける。先生方に聞いてもらい、ディスカッションする。地域との交流イベントにも積極的にかかわる。				
学習目標 (到達目標)	世界や日本で起きている課題について、テーマを決め調査する。自分ごとに捕らえたときに、何ができるか、こうしていきたいという持続可能な意志を持てる。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし 実績としては、2022年第1回Trash or Treat(SDGs)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	SDGsの復習		動画、PPT		
3～10	世界の問題、課題の復習と調べ学習				
11・12	自分のテーマに沿って発表				
12～20	地元の問題、課題の復習と調べ学習				
21・22	自分のテーマに沿って発表				
23～25	自分のテーマをしぼり、調査を続ける		企業や自治体への訪問		
26～50	フィールドワーク		イベントへの参加や企業訪問など		
51～65	まとめ、リハーサル				
66～70	発表、振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
発表試験80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れない。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	英語資格対策Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	TOEICの基本を知り、600点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、600点を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1		CDを使いながら問題を解き、解説する／単語テスト		
5～10	Part2		↓		
11～15	Part3				
16～20	Part4				
21～25	Part5				
26～30	過去問題				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Listening定期試験40％、Reading定期試験40％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	食物アレルギー				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	食物アレルギーに関する基本的知識を身につけ、アレルギーを持つお客様への対応方法や心の準備を整える。食物アレルギーの予防、診断、治療、緊急対応、そしてアレルギー対応食の調理に関する基本的知識を身に付ける。				
学習目標 (到達目標)	食物アレルギーに関する専門知識を深め、実践的なスキルを身につけることを目指します。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	食物アレルギーアドバイザー準2級テキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	食物アレルギーの基礎 アレルゲンの種類と検査方法				
3.4	食物アレルギーの診断と治療 食品表示とアレルゲン表示				
5.6	アレルギー対応食の調理方法 栄養バランスと代替食材				
7.8	緊急時の対応 アレルギー児の食育				
9.10.	集団給食におけるアレルギー対応 確認テスト、まとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			接客する際に食物アレルギーの基本的知識を持ち、食の安全を守れるようになってほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	介助理解				
担当教員	渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	5
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルに就職した際の緊急時に適切な救命措置を行えるようになること。特に、心肺蘇生法、自動体外式除細動器（AED）の使用、気道異物除去、その他の応急手当の技術を習得し、実践できるようにすることを目指します。				
学習目標 （到達目標）	緊急時に必要な救命技術を体系的に学び、実践力を身につけることを目指します。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料					
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	救命の連鎖の重要性				
2	一次救命措置の基本（心肺蘇生法、CPR）				
3	AEDの使用方法、心停止の予防策				
4	気道異物除去の技術、CPRとAEDの効果測定				
5	体位管理と搬送法、熱中症やアナフィラキシーなどの応急手当				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			接客する際に普通救命の基本的知識を持ち、すぐに動けるようになってほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	鑑賞対話で学ぶ多様性Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、授業の進め方	鑑賞対話を通じて観察力や思考力を養い、多様な価値観を受け入れる姿勢と心理的安全性の重要性を学ぶ さらに、より深い対話を実践し、多様な価値観の理解を深め、柔軟な思考と円滑なコミュニケーション力を高める。				
学習目標 (到達目標)	他人の意見を否定せず受け入れ、自分の意見も伝える勇気を持てる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	プリント、作品				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	鑑賞対話の復習 作品①		作品を提示して理解を深める		
3・4	鑑賞対話 作品②③		学生たちから希望をとり、適した作品を選ぶ		
5・6	鑑賞対話作品④⑤				
7・8	鑑賞対話作品④⑤				
9・10	鑑賞対話作品⑥ 発表				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席60%、レポート提出20%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			否定的や悲観的な言動に気をつける。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名		宿泊実務Ⅱ				
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	前期
必修・選択		選択	単位数		時間数	20
授業概要、目的、 授業の進め方		ホテルの宿泊部門の様々な業務をテキスト、実習を通して学ぶ。 また、TAPホテルシステムの基本操作ができるようになる。				
学習目標 (到達目標)		宿泊部門の重要性と業務を学び、TAPホテルシステムの操作ができるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		TAPテキスト、ホテルテキスト（フロント・サービス編）、ホテルテキスト（フロント・オフィス編）				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1、2	ガイダンス、1年次の振り返り					
3、4	フロントオフィス、料金システム紹介、 リザーベーション業務、予約サイト比較			テキスト		
5、6	TAPシステムを使ったフロント業務の実践①			テキスト、TAP		
7、8	TAPシステムを使ったフロント業務の実践②					
9、10	TAPシステムを使ったフロント業務の実践③					
11、12	TAPシステムを使ったフロント業務の実践④					
13、14	TAPシステムを使ったフロント業務の実践⑤					
15、16	TAPシステムを使ったフロント業務の実践⑥					
17、18	TAPシステムを使ったフロント業務の実践⑦					
19、20	まとめ、TAP振り返り				↓	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率20% 授業態度10% 試験60%、レポート10% 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				就職後のイメージをしながら 予約業務のの基礎を学び、知識と技術を習得する。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	ケーススタディ				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	サービスの本質とはどのようなものか、ホテルで起こりうる様々な場면을提示し、それに対するベストな対応をケーススタディ通し考え実践する。				
学習目標 (到達目標)	お客様目線に立つことの大切さを学び、引き出しの多いスタッフを目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	パワーポイント、参考書				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ガイダンス				
3.4	ケーススタディ① 対応研究、実践		パワーポイント、参考書		
5.6	ケーススタディ② 対応研究、実践				
7.8	ケーススタディ③ 対応研究、実践				
9.1	まとめ、振り返り			↓	
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席率80% 授業態度20%			素っ気ない対応にならないように、相手のことを考えられるようになる。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名	中国語会話				
担当教員	藤田愛子		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 中国語の発音を理解し、発音できる 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えることを中心に会話ができる 3. 道を聞く、答えられる				
学習目標 (到達目標)	自己紹介、数字の聞き取り、簡単な案内ができるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	中国語 はじめの一步				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	中国語の発音		テキスト・発音の反復と単語テスト		
3・4	自己紹介文・発表				
5・6	人称代名詞;“是”の文				
7・8	人称代名詞;“是”の文				
9・10	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;				
11・12	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;				
13・14	副詞				
15・16	動詞の文				
17・18	「所有」を表わす“有”〔ほか〕				
19・20	物の数え方・ホテル・レストランで使うフレーズ				
21・22	総復習			↓	
23～25	期末テストと振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期試験80%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			中国語を学ぶことが初めての学生が多いため、発音や書き方など間違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起きない工夫をする。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	アメニティデザイン				
担当教員	鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	後期
必修・選択	選択	単位数		時間数	10
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルや施設で提供されるアメニティ（例：シャンプー、ボディソープ、タオルなど）をホテルにあったデザインや内容を考える授業です。実用的で魅力的なアメニティをデザインするスキルや知識を学ぶ。				
学習目標 （到達目標）	アメニティは、ホテルなどでゲスト体験を向上させる重要な要素であるため、この授業では、アメニティの機能性や重要度を理解する。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料、PPプレゼン				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1、2	ホテルにおけるアメニティとは		パワーポイント		
3、4	ホテルのアメニティとSDGs		↓		
5、6	ホテルに合ったアメニティ考案				
7、8	ホテルに合ったアメニティ作成				
9、10	まとめ、プレゼンテーション				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト50%、出席率30%、学習意欲（授業態度）20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			どのようなアメニティがあれば、ゲストの満足度が上がるのか考えながら取り組み、作成を行う。		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。			

科目名		SNS広報				
担当教員		鈴木 敬一郎	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	25
授業概要、目的、授業の進め方		ホテルを素敵に宣伝するために、SNSをどのように使えば、ゲストに伝わるか考えながら、広報とSNSの使い方を学ぶ。実際に投稿を作成し発信をしてみる。				
学習目標 (到達目標)		SNSの基本的な仕組みと特徴を理解し、ホテル業界におけるSNS活用事例を分析できる。 ターゲットに合わせたSNSコンテンツを企画・制作し、投稿の効果を分析し、改善策を立てられる				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		Instagram、X、Tiltok、Canva				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～3	SNS広報とは？ホテル業界での役割			Instagram、X、Tiltok、Canva		
4～6	ターゲット分析とペルソナ設計					
7～9	SNSプラットフォーム別戦略（Instagram編）					
10～12	SNSプラットフォーム別戦略（X・TikTok編）					
13～15	コンテンツ企画とカレンダー作成					
16～18	写真・動画撮影の基礎					
19～21	キャプション・ハッシュタグの書き方					
22～24	投稿実践とフィードバック					
25	最終プレゼンテーション				↓	
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率20％ 授業態度10％ 試験60％、レポート10％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				就職後のイメージをしながら SNSのトレンドに関心を学ぶ		
実務経験教員の経歴		ホテル（宿泊部門、料飲部門）にて計7年間勤務した。				

科目名	サービステクニク				
担当教員	渡邊先生		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	35（前20、後15）
授業概要、目的、授業の進め方	ロシアンサービスを実技を通して学んでいきます。様々な食材の知識、そして経費についても意識しながら技術を習得していきます。さらには、その技術がイベントやサービスコンクールへつながるよう意識づけしていきます。				
学習目標 （到達目標）	ロシアンサービス（ゲリドンサービス）の技術を食材を使い、実技を通して学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	配布資料、ナイフ等				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ゲリドンサービスの魅力を伝え、動機付けを行う。 オレンジカービングを行う		過去のサービスコンクール動画		
3.4	オレンジ&キウイカービング				
5.6	オレンジ&レモンカービング				
7.8	キウイ & グレープフルーツカービング				
9.10.	リンゴのカービング				
11.12	パイナップルのカービング				
13.14	フルーツデコレーション		イチゴ、リンゴ、キウイの飾り切りとソースの盛り付け方法		
15.16	サラダの作成				
17.18	ドレッシングの作成、サラダの作成				
19.20.	確認テスト				
21.22	前期技術振り返り（オレンジカービング） サービスコンクール学内選考会の動機付け				
23.24	カービング練習				
25.26	カービング練習（確認テスト含む）				
27.28	カービング練習				
29～31	学内選考会				
32.33	振り返り				
34.35	カービング練習（確認テスト含む）				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			ロシアンサービス（ゲリドンサービス）の技術をナイフ等を使って身につけていきましょう。様々な食材によってナイフの扱い方は変わります。それを、実際に食材に触れることで実体験してください。客前で行うことを前提に所作や身のこなしも大切です。 そして、学内選考は全員で取り組み、コンクール出場の有無にかかわらず外部審査員（市内ホテル）の方々に見ていただき、自身の成長を評価していただきますよう。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	酒類知識				
担当教員	渡邊先生		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	25（前15、後10）
授業概要、目的、 授業の進め方	酒類やカクテルの作成技術を座学、実技を交えながら学んでいく。 また、自身の道具やバーカウンターの整備、整頓方法や経費に関する基本的なビバレッジビジネスについて学ぶ。				
学習目標 （到達目標）	基本的なお酒の知識や調酒技術の習得。サービスの在り方について考える力を養う。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、酒類概論『お酒とは』 バーツール扱い方。備品の紹介				
3.4	カクテル概論『技法、種類』 基本動作の練習				
5.6	醸造酒①『ワイン』 基本動作の練習				
7.8	醸造酒②『ビール』 基本動作の練習、ビルドカクテル作成				
9.10.	醸造酒③『日本酒』 シェイクの練習				
11.12	蒸留酒『スピリッツ』『ウイスキー』 シェイクの練習、シェイクカクテル作成				
13.14	混成酒、副材料『リキュール』 シェイクの練習、シェイクカクテル作成				
15	確認テスト（筆記試験）、サービスについて、前期のまとめ				
16.17	前期振り返り シェイクの練習、シェイクカクテル作成				
18.19	デコレーションについて シェイクの練習、シェイクカクテル作成				
20.21	基本テクニックとシェイクの練習 シェイクの練習、シェイクカクテル作成				
22.23	基本テクニックとシェイクの練習 オリジナルカクテル発表準備、シェイクカクテル作成				
24.25	オリジナルカクテル発表会 授業全体のまとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			シェイクの技術だけでなく、ビバレッジビジネスについてもしっかりと学びましょう。それが、現場に出たときに、すぐに役立つことになるということを理解することが重要です。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名	フードリサーチ				
担当教員	渡邊先生		実務授業の有無	なし	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択	選択	単位数		時間数	25（前15、後10）
授業概要、目的、 授業の進め方	食材について多方面から学び、特徴はもちろん、価値がわかるようになる。それを、お客様へご案内できることを目指し、経験値を上げていく。また、和・洋・中の料理の調理法や特徴などを深く調べる。				
学習目標 （到達目標）	基本的な食材や調理法の習得。サービスの在り方について考える力を養う。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	配布資料、食材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、目的説明、調査テーマ検討				
3.4	調理法【フランス料理】				
5.6	調理法【日本料理】				
7.8	調理法【駐豪料理】				
9.10.	食材調査①				
11.12	食材調査②				
13.14	食材調査③				
15	確認テスト（筆記試験）、前期のまとめ				
16.17	前期振り返り、おいしさの表現について 調理法確認				
18.19	食材調査⑥				
20.21	食材調査⑦				
22.23	食材調査⑧				
24.25	確認テスト（筆記試験）、後期のまとめ				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
確認テスト30%、出席率40%、学習意欲（授業態度）30% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。			調理法だけでなく、食材について、おいしさの表現についても しっかりと学びましょう。それが、現場に出たときに、すぐに役 立つことになるということを理解することが重要です。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった			

科目名		表現技法				
担当教員		渡邊 恵	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	2	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	15（前10、後5）
授業概要、目的、 授業の進め方		接客での表現力を正しい日本語を使って身につける				
学習目標 （到達目標）		1つの意味を伝えるのに、様々な表現があることを理解し、使えるようになる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料		配布資料				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	発声、滑舌トレーニング 美しく、正しい接客のフレーズ					
3.4	『おいしい』の別表現を学ぶ・考える					
5.6	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する					
7.8	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する					
9.10.	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、それを接客時に使える言葉で文章を作成する⇒共有する					
11.12	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、接客時に使える言葉で文章を作成し、伝えられるようにする					
13.14	料飲接客に関する食材、ホテル案内に関する知識を学んだ後に、接客時に使える言葉で文章を作成し、伝えられるようにする					
15	文章共有→接客実技→まとめ					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期テスト30％、出席率40％、学習意欲（授業態度）30％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。				接客する際に様々な表現を使って、おいしさを伝えられるように、言葉の引き出しを増やしてほしいと考えています。		
実務経験教員の経歴		客船乗務員（サービス全般）に6年間携わった				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	キャリアデザインⅢ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	①学校生活の情報提供 ②大学履修についてのサポート				
学習目標 (到達目標)	スムーズに学校生活が送れるよう情報の理解と整理をする キャリア形成を考えられる時間を持ち、実際にインターンシップをすすめる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～20	前期オリエンテーション				
21～40	後期オリエンテーション				
41～45	次年度サポート・科目履修				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
出席100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			最新の情報を扱うこと。就職応援サイトなどの活用がよい。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	就職対策Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	70
授業概要、目的、 授業の進め方	就職活動の流れや必要な事柄について理解し、個人で準備ができるように指導する 1. 就職活動の流れ 2. 自己分析 3. 企業研究 4. 書類・面接について				
学習目標 (到達目標)	自分の人生スケジュールを考えながら、就職活動に向かうことができる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	勝つための就職ガイド Success				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1 2	就職活動の心構え 就職活動の流れ		テキスト P.6～		
3 4	履歴書・エントリーシートの書き方		テキスト P.14～		
5～8	動画履歴書作成		テキスト P.18～		
9 10	自己分析 自分自身を知る		テキスト P.27～		
11 12	職業を知る 自己分析				
13～18	論理的文章の書き方・考え方				
19 20	情報収集・企業研究				
21～23	情報収集のポイント		テキスト P.36～		
24～30	面接指導 自己分析 自己PR		テキスト P.52～		
31～35	面接練習 ・ 企業研究 ・ サイトの活用		テキスト P.66～		
36～50	就職研修 履歴書の写真撮影など				
51～55	研修振り返り・企業研究				
55～60	就職研修（1月）・求職登録面接				
61～70	就職研修（2月）・求職登録面接				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

② 国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目	インターンシップ研修Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面のみ
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	150
授業概要、目的、 授業の進め方	1. 1年次のインターンシップを振り返り、改善点やさらなる目標を立てる 2. 目標達成に見合ったホテル選びをし、企業研究をする 3. より英語力が発揮できる職場への配属を希望し、アウトプットする				
学習目標 (到達目標)	インターンシップ企業からの評価をもらう				
テキスト・教材・参考図	インターンシップレポート				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	顔合わせ・意識づけ		身嗜みや言葉遣いに注意。学生ではなく社会人としての意識を持つ。		
3～6	企業調べ・目標設定		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
7～140	OJTによる業務体験		受入企業の意向に合わせて、内容は変更可能。		
141～150	振り返り		パソコンで作成		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
勤務態度100％ 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			基本的には、インターンシップ企業のシフトやルールで動くことになるので臨機応変さが必要。		
経歴教員の経			外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり		

科目名	SNSマーケティング（地域創生マネジネントⅠ）				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	45コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	地域創生に欠かせないSNSマーケティングの手法を学ぶために基礎となるITパスポートの学習から始める 検定を勉強する中で、習ったことをどう活かすかを実習として取り入れる				
学習目標 （到達目標）	基本的な概論学習からはじめ、ITパスポート合格基準に達する				
テキスト・教材・参考図 書・その他資料	ITパスポートテキスト				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	第1章 企業活動 第2章 業務分析・データ利活用		テキスト プリント		
3.4	第3章 法務				
5.6	第4章 経営・技術戦略マネジメント マーケティングとは？売れる商品とは？				
7.8	第5章 ビジネスインダストリ				
9～15	第6章 システム戦略				
16～21	第7章 システム開発とSNS実習				
22～25	第8章 プロジェクトマネジメント				
26～30	第9章 サービスマネジメント 第10章 システム監査				
31～33	第11章 基礎理論				
34～38	第12章 アルゴリズムとプログラミング				
39・40	第13章 ハードウェアとコンピュータシステム 第14章 ソフトウェア		過去問題集		
41・42	第15章 情報デザインと情報メディア 第16章 データベース		過去問題集		
43	第17章 ネットワーク 第18章 情報セキュリティ		過去問題集		
44・45	過去問題の解答解説		過去問題集		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
A. 予習（事前課題） B. 授業中に実施する小テスト・レポート・実技 C. グループワーク（演習・発表） D. 授業態度・出席状況 E. その他・備考 B 小テスト 20％ B.授業中に行う実技の評価 20％ C.グループワーク 20％ D.授業態度・出席状況の評価 40％ 合計 100％ 成績評価基準は、A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。			難しい専門用語が多いが、SNSマーケティングという地域を盛り上げるために欠かせない考え方をしっかり把握する		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	世界遺産検定対策Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、 授業の進め方	世界各国からお越しになるお客様との会話を広げ、異文化を理解するために世界遺産を中心とした地理を学ぶ。テキストを中心にすすめ、検定合格を目指す。				
学習目標 (到達目標)	世界遺産検定 2級合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	世界遺産の基礎知識		世界遺産検定 公式テキスト ガイドブック		
3.4	日本の世界遺産				
5.6	人類の誕生と古代文明				
7.8	アジア世界の形成・文化				
9～12	ヨーロッパ ルネサンス・大航海時代				
13～18	アメリカの文化				
18～22	オセアニアの文化				
23～25	近代国家の成立				
26～45	過去問題		過去問題集		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験評価80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			暗記中心にならないようにする。写真やYoutube等も活用する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル業界・顧客研究Ⅲ				
担当教員	藤田愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、 授業の進め方	テキストを使い、自分の行動やお客様、社員の行動指針を考えてみる。 企業に入社した時に日常生活とは違う心持で働くことへのギャップをなくす。				
学習目標 (到達目標)	お客様の行動をマーケティングし、提案できるアイディアを生むための行動指針がわかる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	経営学の行動指針（土光敏夫）／基礎からわかる経営管理				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1・2	オリエンテーション 経営学の行動指針 1 すべてのバイタリティを		講義		
3・4	経営学の行動指針 2 社員は3倍働け 重役は10倍働く 3 幹部は偉い人ではなく つらい人だと知れ		フィールドワーク		
5・6	経営学の行動指針 4 常将来へのビジョンを描いておけ 5 経営に活気をみなぎらせるために		講義		
7・8	経営学の行動指針 6 社員が共通の価値観で結ばれていること 7 当社が日本一の一角である		講義		
9・10	経営学の行動指針 8 これから期待される社員像 9 組織は上下のひな壇ではなく		ディスカッション・発表準備		
11～15	調査 行動指針から自分なりの考えや希望企業の行動理念等と比較・発表				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			深く学んでいくにつれ、専門用語や国際的に使われている事例も出てくるため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	English Expression I				
担当教員	藤田先生		実務授業の有無	×	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3年	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	30
授業概要、目的、 授業の進め方	地域連携イベント（総踊り、街歩き、ビーチクリーン、その他イベント）を海外の人に知ってもらうためのSNSや外国人観光客へのサブガイドとして自分の英語力をアウトプットする授業				
学習目標 （到達目標）	一人で英語でのご案内や告知文書を作成できる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	テーマの検討、調べ学習		PCを使用し、各団体や企業のHPを参考に進める		
11～15	各自のテーマについて、告知、案内文を作成する				
14～16	全員で共有する				
17～20	再考し、データ・材料を集める				
21～30	ターゲットや目的を決め、文書作成、デザインを進める				
31～33	全員で共有する				
34～35	再考した後、アップロードやご案内を実行する・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			はじめての挑戦のため、しっかりとスケジュールをたて臨む。テーマのプロから話を聞き、理解を深める工夫が必要。		
実務経験教員の経歴		英語指導経験あり			

科目名		英語資格対策Ⅲ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	45コマ
授業概要、目的、 授業の進め方		TOEICの基本を知り、600点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目標 (到達目標)		TOEICの基本を知り、600点を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		TOEIC L&R TEST対策 650点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1			CDを使いながら問題を解き、解説する／単語テスト		
5～10	Part2					
11～15	Part3					
16～20	Part4					
21～25	Part5					
26～30	過去問題と解答解説					
31～35	単語・熟語・リスニング強化					
36～39	単語・熟語・リーディング強化					
40～45	過去問題と解答解説			↓		
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
A. 予習（事前課題） B. 授業中に実施する小テスト・レポート・実技 C. グループワーク（演習・発表） D. 授業態度・出席状況 E. その他・備考 A. 予習（事前課題） 30% B.授業中に行う小テストの評価 40% D.授業態度・出席状況の評価 30% 合計 100% 成績評価基準は、A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D(59点以下)とする。				TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモウラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				

科目名	中国語検定対策Ⅰ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテルスタッフとして中国からのお客様にもスムーズに対応できる語学力を付ける。 中国語の基礎会話や読み書きができる。 テキストも用いながら、反復練習を行う。				
学習目標 (到達目標)	中国語検定準4級合格				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり 中国語検定試験問題集				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	第1課 人称代名詞・名前の尋ね方と答え方・文末動詞		新・ゼロから学ぶ中国語 検定試験合格への道のり		
3.4	第2課 判断を表す文、副詞、疑問詞疑問文				
5.6	第3課 指示代名詞、紛らわしい語の区別、				
7.8	第4課 動詞・助動詞				
9～10	第5課 助数詞・家族の呼び方				
11～12	第6課 形容詞の文 反復疑問文				
13～14	第7課 時刻表現・前置詞				
15～16	第8課 曜日の言い方・年齢の尋ね方				
17～18	第9課 動詞の重ね方 金額の言い方				
19～20	第10課 存在を表す語・連動文				
21～22	第11課 助動詞 過去問題				
23～24	第12課 現在進行形 過去問題		中国語検定対策 過去問題		
25～26	第13課 前置詞 過去問題				
27～28	第14課 助動詞 過去問題				
29～30	第15課 未来形 一問一答 過去問題				
31～40	検定対策 過去問題				
41～45	検定対策 過去問題 期末テスト				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
定期テスト80%、学習意欲10% 検定結果10% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			昨年、中国語の勉強を10時間受講している。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	海外語学留学				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	300
授業概要、目的、授業の進め方	短期留学をし、現地の学校に通う。 現地の生活様式や価値観を体験することで視野を広げる。 語学力の向上にむけ、現地の学校のカリキュラムやスケジュールで活動する。				
学習目標 (到達目標)	海外を自分の目で見ることによって視野が広がる、気づきがある。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	ホームステイをしながら、現地の学校に従う				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション		レベル別クラスにて指導を受ける		
2	クラス分けテスト		↓		
3～300	選択した留学先のカリキュラムに従う				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
留学先の評価基準に従う 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			海外生活に順応できるか、初期の把握が重要になる		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	Discussion				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	15
授業概要、目的、授業の進め方	ひとつの物事をいろいろな側面から見る力をつける。答えは一つではなく、立場や状況によってことなることを理解し、できないと決めつけるのではなく、できる方法を考え、アドバイスする前向きな思考を身に着ける。				
学習目標 (到達目標)	相手を否定せず、相互理解をする。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	ディスカッションとは何か、考え方やルールを知る				
3～8	お題①自分の思いや意見をブレンストーミングする。 意見や感想を言いながら相手の意見や考えを聞く。				
9～12	ファシリテーションとは何か、進进行を学ぶ				
13～15	ファリシテータの練習をする 他クラスの学生に対して、ファリシテータとしてディスカッションを担当する 振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			相手を否定することや常識で判断することはいらない。		
実務経験教員の経歴	外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		イベントプロデュースⅢ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	講義・実習
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	後期
必修・選択		必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方		実働している地域イベントにインターンシップ（ボランティアスタッフ）をとして参加し、地域活性のために尽力することを体感する。 地域イベントとの連携をし、イベントの仕組みや集客、運営を学ぶ。 今年度は大地の芸術祭（新潟県十日町市）とのコラボレーションをする。 運営の中ではインバウンドのお客様を対象にした英語での案内もサポートメンバーとして協力する。				
学習目標 （到達目標）		地域と地域イベントの立場を理解し、運営の仕方を知る。 自分たちができることを考え、サポートに入る。スタッフ、お客様に喜んでもらうよう言葉や行動ができる。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		動画、PPTを使ってツアー内容を日本語、英語共に案内する				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション			動画、PPT		
3.4	オリエンテーション② 大地の芸術祭実行委員			NPO法人 里山支援機構 羽鳥様		
5.6	芸術祭のツアーを知る					
7～9	芸術祭のツアーガイド準備を始める（日本語）					
10～15	芸術祭のツアーガイド準備を始める（英語）					
16～42	インターンシップ 芸術祭ボランティアメンバーとして過ごす			十日町の寮にて1日8時間程度のボランティア		
43～45	振り返り					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。				個々での活動が中心の探究型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れない。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	大学併修科目				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	3	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	100
授業概要、目的、 授業の進め方	自分で選択した科目について学ぶ。 学位の取得。 大学の授業を併修しているため、時間管理を徹底する。				
学習目標 (到達目標)	レポート提出と試験合格。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	選択科目による。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・テキストの確認		選択したコースのテキストを学習し、レポート作成		
2	履修の進め方、テストの受け方の確認		↓		
3～100	自分が選択した科目による				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
大学の基準による 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テストや提出物のスケジュールの把握が重要。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名		キャリアデザインⅣ			
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必須	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	①学校生活の情報提供 ②就職活動サポート ③学校行事への参加				
学習目標 (到達目標)	スムーズに学校生活が送れるよう情報の理解と整理をする 内定をもらう				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	前期オリエンテーション				
11～20	就職活動サポート・学校行事への参加				
21～30	後期オリエンテーション				
31～45	卒業準備・キャリアデザイン・学校行事への参加				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲60% 出席40% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			最終学年のため、目標達成ができるように声をかける。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名	就職対策Ⅱ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	今までのビジネス実務の学習を生かして、メール文や依頼文を作成する。自分の気持ちを込めた、自分らしい文書が書ける。				
学習目標 (到達目標)	敬語、ビジネス用語と漢字、基礎ビジネス文書が書ける				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	実践ビジネスマナー				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～10	敬語の復習や間違いやすい漢字や表現について		テキスト		
11～20	お礼状（会社説明会、内定承諾、イベント参加者へ等）		ケーススタディを通じて、直筆で書く		
21～30	謝罪文、わび状（お客様からのクレーム、内定辞退の連絡等）		ケーススタディを通じて、直筆で書く		
31～45	電話応対（企業への説明会申し込み～クレーム対応まで）		ロールプレイ中心		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
試験結果50% 出席50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			専門用語やビジネスシーンで使う単語が多いため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	地域創生マネジメントⅡ				
担当教員	藤田愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	前半はITパスポートテキストを使い、合格を目指す。 後半は今まで培ってきたSNS運営の知識とマネジメントの知識を実践する。 これにより企業に入社した時に、社会人が持っている経営感覚へ近づける。				
学習目標 (到達目標)	ITパスポート合格。お客様の行動をマーケティングし、マネジメントしていける提案ができる。アイディアを生むための行動指針がわかる。				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	ITパスポートテキスト、基礎からわかる経営管理				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～20	ITパスポート合格への過去問題特訓・SNSの運用		講義		
21～30	SNS運用事例から題材を決める		フィールドワーク		
31～35	SNSの運用 基礎からわかる経営管理 第1章・経営管理と経営とは		講義		
36～40	基礎からわかる経営管理 第2章・経営者の仕事		フィールドワーク		
41～45	基礎からわかる経営管理 第三章 財務会計や管理、経理との違い		講義		
46～50	基礎からわかる経営管理 第4章・経営管理の進化		講義		
51～60	基礎からわかる経営管理 第5章・日米中における企業の経営スタイルの比較		ディスカッション・発表準備		
61～80	調査 経営管理から自分なりの考えや希望企業の行動理念等と比較				
81～90	発表・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			深く学んでいくにつれ、専門用語や国際的に使われている事例も出てくるため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	ホテル業界・顧客研究Ⅳ				
担当教員	藤田愛子		実務授業の有無	○	
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、 授業の進め方	ホテル・観光の視点から、お客様のニーズの変化や国内外の情勢の変化、流行などを学習する。今あるものに自分たちなりの調査、研究、提案を加え、業界の活性化につなげる。地域共存、国際センスも養うため外部の団体、イベントとも交流を持つ。卒業制作につながる発展性のある授業。				
学習目標 (到達目標)	お客様の行動をマーケティングし、提案できるアイデアを生む。自分たち自身の成長を実感する 自分たちで立てた目標を達成する				
テキスト・教材・参考 図書・その他資料	なし				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	目的、ゴールの概要と心構え		ディスカッション		
6～16	マーケティング論		講義		
17～20	調べ学習、実際にフィールドワークから顧客ニーズを知る		フィールドワーク		
21～38	役割分担、発表準備		イベント準備		
39～41	リハーサル				
42～45	発表・振り返り				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
学習意欲 50% 出欠席 50%			深く学んでいくにつれ、専門用語や国際的に使われている事例も出てくるため、分かりやすく説明することに加えて、プリント類の配布やサイトを活用して理解を定着させるように指導する。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。					
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	English Expression II				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	45
授業概要、目的、授業の進め方	4技能の力を維持するために、ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、発話するスピードや発音、抑揚を意識する 留学後の会話力低下を防ぐためにも、日常会話を中心に海外ドラマやプレゼン動画を参考に、発音、スピードを意識した会話が出来るように進める。スピーチ文や劇を自分たちなりにまねたり演出したりする。英文をただ読むのではなく、場面や状況に応じて読み分ける力をつける。さらにグループワークを通じて、スピーチ文や劇を組み立てることで本質を理解していなければできない構成力や役になりきり表現する力を磨く。 伝わりやすい表現や抑揚、発音を習得し、スティーブジョブズや米国大統領のように表情豊かに表現する。TEDを使い、周りを引きこむ工夫を体感しながら、真似をすることから始める。				
学習目標 (到達目標)	日本語の台本を起こさなくても、英語で分の組み立てが出来る。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	TED、各種ビデオ教材				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～5	レベルチェック・introduction		CDやYouTubeを使いながらシャドートレーニング		
6～10	TED① 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習		CDやYouTubeを使いながらディクテーション		
11～15	発音・抑揚チェックを受けながら練習		↓		
16～20	グループ練習・リハーサル				
21～25	発表				
26～30	TED② 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習		問題集の問題を中心に解いて、解説する		
31～35	TED③ 読み取るための英語理解・注意点の共有・練習				
36～45	まとめ・解説		TED		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
Listening定期試験40%、Reading定期試験40%、学習意欲20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			英語の4技能全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、いろいろなジャンルに挑戦する。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名	英語資格対策Ⅳ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	後期
必修・選択	必修	単位数		時間数	45コマ
授業概要、目的、 授業の進め方	TOEICの基本を知り、700～800点を目指す。ビジネスシーンで活かせる表現や発音の習得をする。 1、Listeningでは、スピードになれる。リンキングを耳にならす。 2、Readingでは、しっかりとした品詞の違いやPart5の点数アップを目指す				
学習目標 (到達目標)	TOEICの基本を知り、700～800点を目指す。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	TOEIC L&R TEST対策 800点コース (TAC)				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1～4	Part1		CDを使いながら問題を解き、解説する／単語テスト		
5～10	Part 2				
11～15	Part 3				
16～20	Part 4				
21～25	Part 5				
26～30	過去問題と解答解説				
31～35	単語・熟語・リスニング強化				
36～39	単語・熟語・リーディング強化				
40～45	過去問題と解答解説		↓		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
A. 予習（事前課題） B. 授業中に実施する小テスト・レポート・実技 C. グループワーク（演習・発表） D. 授業態度・出席状況 E. その他・備考 A. 予習（事前課題） 30％ B.授業中に行う小テストの評価 40％ D.授業態度・出席状況の評価 30％ 合計 100％ 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			TOEICを解くこと自体はじめての学生が多い。正解率を上げることも大切だが、全体をモーラすることも大切。一つの単元に集中しすぎず、最後まで解き切ることをまずしなければなりません。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり			

科目名		中国語検定対策Ⅱ				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択		選択	単位数		時間数	45
授業概要、目的、 授業の進め方		3年次に取得した検定内容を復習しつつ、さらに上の急を目指す。 1. 中国語検定4級合格 2. ホテルやレストランで聞かれる、伝えることを中心に会話ができる 3. 道を聞く、答えられる				
学習目標 (到達目標)		検定の範囲も学習しつつ、自己紹介、数字の聞き取り、簡単な案内ができるようになる				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料		中国語 はじめの一步 中国語検定4級対策問題				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1・2	中国語の発音 復習			テキスト・発音の反復と単語テスト		
3・4	自己紹介文・発表					
5・6	人称代名詞;“是”の文					
7・8	指示代名詞;疑問詞疑問文;“的”の用法;					
9・10	副詞					
11・12	動詞の文					
13・14	「所有」を表わす“有”〔ほか〕					
15～18	総復習					
19・20	期末テストと振り返り 中国語検定4級合格を目指す					
21～45	過去問題・解説					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
定期試験80%、学習意欲20%				昨年の学習を思い出しつつ、発音や書き方など間違いやすいところを含めて伝え、勘違いが起きない工夫をする。		
成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり				

科目名	イベントプロデュースⅣ				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方	例年行うフラグシップイベントのため、リーダーポジションにつくように指示。運営再度として全体を俯瞰して見られる力をつける。 学校が提携している実習施設（ホテルイタリア軒様）の客室（30室）を買取、学生のアイディアで販売、運営するための準備授業となる。				
学習目標 （到達目標）	就職後に自分の地域で学習したことを役立てられる。Win-Winの関係を築くために行動がおこせる。地域の魅力発信や集客に役立つ企画を考え、提案、実行する。多くの企業や大人と関わることで、伝え方や考え方、社会の仕組みを相対的に学ぶ。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	インパウンドの回復、コロナ後の日本景気的好調もあり、ホテルを中心としたツーリズムをフィールドワーク、集客を通じてのイベント運営を行う。チームに分かれての行動や研修、講話が多くなる。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1.2	オリエンテーション		動画、PPT		
3.4	地域活性化に取り組む企業様からの講演①			月岡温泉 株式会社泉慶 飯田様	
5.6	講演の振り返り・SNSの発信		SNSの発信を始める		
7.8	地域活性化に取り組む企業様からの講演②			星野リゾート OMO5金沢片町 海野様	
9、10	フィールドワーク説明（石川県金沢市のホテルの取り組み）				
11～20	金沢市内ホテル研究				
21～30	金沢市内でのフィールドワーク（各社の協力を得てツーリズムについて講義、研修を受ける）			イベントへの参加や企業訪問など	
31～40	フィールドワーク共有と地元の調査				
41～60	企画・立案を進める				
61～75	プレゼン・修正				
76～90	リハーサル、修正、客室の販売準備完成				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
発表試験80％、学習意欲20％ 成績評価基準は、A（80点以上）・B（70点以上）・C（60点以上）・D（59点以下）とする。			探求型学習になるが、こまめにチェックをし褒めることを忘れない。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

②

国際ホテル・ブライダル専門学校 シラバス

科目名	大学併修科目				
担当教員	藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科	ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	通年
必修・選択	必修	単位数		時間数	315
授業概要、目的、 授業の進め方	自分で選択した科目について学ぶ。 学位の取得。 大学の授業を併修しているため、時間管理を徹底する。				
学習目標 (到達目標)	レポート提出と試験合格。				
テキスト・教材・参 考図書・その他資料	選択科目による。				
回数	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	オリエンテーション・テキストの確認				
2	履修の進め方、テストの受け方の確認				
3～315	自分が選択した科目による				
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
大学の基準による 100% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			テストや提出物のスケジュールの把握が重要。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英会話講師経験あり			

科目名		卒業制作				
担当教員		藤田愛子	実務授業の有無	○	授業形態	対面と遠隔
対象学科		ホテル・ツーリズム大学科	対象学年	4	開講時期	後期
必修・選択		選択	単位数		時間数	90
授業概要、目的、 授業の進め方		学生たちの理想とするホテル運営を説得力をもってプレゼンできるように調査、実証をしていくフィールドワークやディスカッションが中心。 イベントを通して、学年全体のつながりや、プランニング力、プレゼン力、チームワークなど実践を通して身につけ、イベントを実施する				
学習目標 (到達目標)		卒業制作発表会で、保護者や企業に発表する				
テキスト・教材・参考図書・その他資料		プリント教材				
回数	授業項目、内容			学習方法・準備学習・備考		
1.2	動機付け、発表の内容、スケジュールについて			プリント		
3.4	グループにてスケジュール確認、発表内容と報告書の作成			プリント		
7～10	企業や団体などをリストアップし、現状や取り組みについてのアンケートや調査を行う			グループワーク		
11～14	スケジュールや進め方（新グループ、メンバー）を全体で共有する					
15～18	各グループは報告書完成させる。当日の会場装飾の準備を始める 実行委員は招待客のリストを作成する					
19～22	当日の発表に必要な台本＋パワポを作成する					
23～26	当日の会場で、本番のイメージをつかむ					
27～30	台本＋パワポの修正。完成。					
31～36	台本見ながら全体リハーサルを行い、他のグループ発表を聞いて、卒制全体のイメージをつかむ					
37～42	全体リハーサルの準備を始める（台本とパワポのタイミングを合わせる）					
43～48	企業の方に企画や発表を見ていただき、内容をより精査する 全体リハーサルの準備を行う（前後のつながりを考える）					
49～65	全体リハーサルを行い、卒制全体の流れを一人ひとりがつかむ					
66～71	全体リハーサルの準備を行う（聞いている人に伝わる話し方を意識しよう）					
72～77	全体リハーサル➡振り返り、修正					
78～83	前日リハーサル➡振り返り、修正					
84～88	企業、保護者本番					
89・90	振り返り（個人シート、グループ、実行委員他）					
評価方法・成績評価基準				履修上の注意		
出席率50%、学習意欲（授業態度）50% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・F(59点以下)とする。※F評価者は追試合格後、D評価となる。				業界の現状を調査し、課題を見つけ、それに対する提案を考えていきます。学生ならではの視点を重視し、実現可能かどうかも含めて、大人の意見を聞きながら進めていきます。自分たちの考えをまとめ、発信し、業界をよりよくするための発表を行います。		
実務経験教員の経歴		外資系ホテル勤務経験あり、英語講師経験あり				